

事務事業の概要・計画（PLAN）

事務事業名	(集排)大平地区起債償還元金	会計名称	農業集落排水特別会計		担当課	都市住宅課		
		予算科目	2 款 1 項 1 目	事業番号	9020	所属長名	三谷陽紀	
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	岡本智和		
法令根拠等	伊予市条例				実施期間	【開始】	令和／平成 17 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	令和	年度(予定)
	潤いのある水環境づくり						☒ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	子供からお年寄りまでが快適に生活できる環境							
事業の対象	農業集落排水地域			事業の目的	農業集落事業			
事業の内容（整備内容）	施設の整備			評価事業としないこととした理由	起債償還事務			

事業活動の内容・成果（DO）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項 目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項 目	単位	前 年度実績	2 年度予定	9月末の実績	2 年度実績
財源内訳	直 接 事 業 費	27,609	28,305	0	0	0	28,305	地方債元金償還金	千円	27609	28305	14064	28305
	国 庫 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	県 支 出 金	0	0	0	0	0	0						
	地 方 債	0	0	0	0	0	0						
	そ の 他	27,609	28,305	0	0	0	28,305						
	一 般 財 源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工（にんく）数		0.10	0.05				0.05						
1人当たりの人件費単価		7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費＋人件費		28,408	28,696				28,696						
主な実施主体		伊予市		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		起債償還							
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
						25,000	24,000	23,000	27,000	28,000	127,000		

事務事業評価（CHECK）

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	起債の償還に関する事務		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	起債元金の計画的な償還であるため。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	